

再生可能エネルギーの活用に向けたアンケート結果

平素より、本県農林業の振興に格段のご協力を賜り、心より御礼申し上げます。

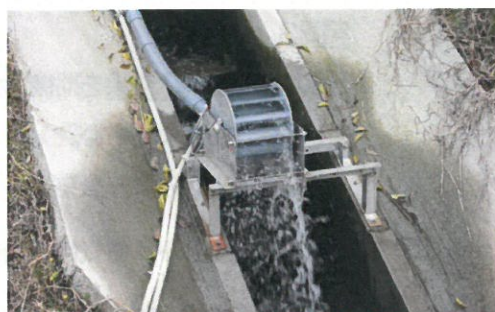
農山村には、多くの地域資源があります。そうした状況を踏まえ、山口県では、農山村における再生可能エネルギーの活用に向けた業務を行っております。そこで、再生可能エネルギー導入の参考とするため、皆様の貴重なご意見をお聞きしたく、アンケートを実施させていただきました。このたび、皆様のご回答内容を集計しましたので、ご報告させていただきます。

☆再生可能エネルギーを活用した事例

- ・ 太陽光で発電・・・売電、照明、防蛾灯等



- ・ 小水力で発電・・・照明、電気柵等



- ・ 木材を利用した暖房設備・・・ペレット加温機、ボイラー等



担当

山口県 農林水産部 農林水産政策課 資源活用推進班 橋本

電話 083-933-3473 FAX 083-933-3339

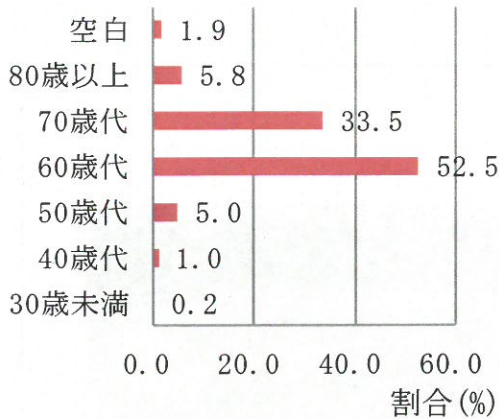
調査日 平成27年9月2日～4日

対象者 多面的機能支払交付金対象組織関係者

(西部292名、東部167名、中部217名、計676名)

回答者 **480名** (西部184名、東部119名、中部177名) : 男性352名、女性12名、空白116名 : 回収率71%

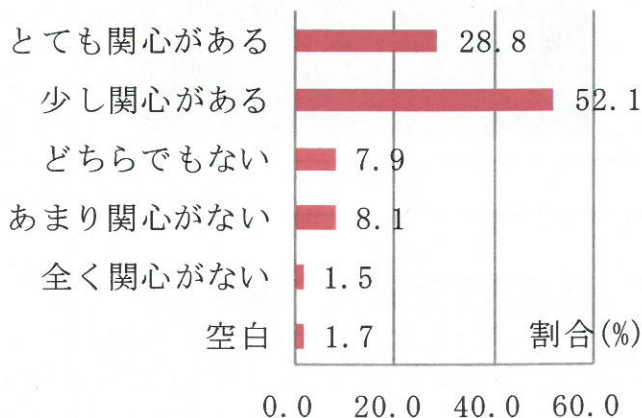
年代構成



質問1

再生可能エネルギーに興味がありますか。あてはまるものに○をつけてください。

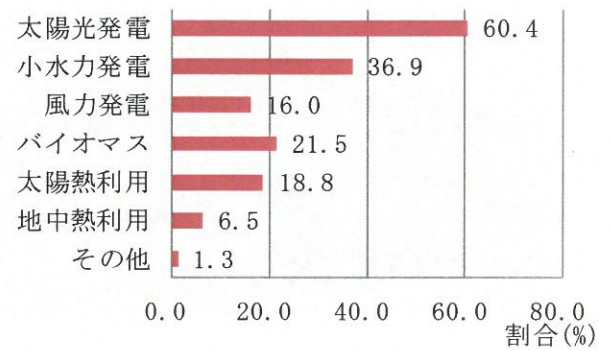
- ① とても関心がある
- ② 少し関心がある
- ③ どちらでもない
- ④ あまり関心がない
- ⑤ 全く関心がない



質問2

興味を持たれている再生可能エネルギーは次のうちどれですか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

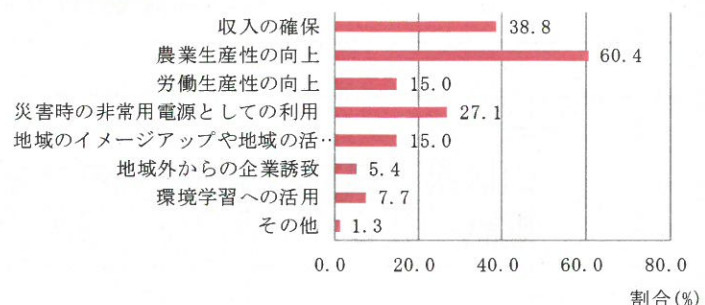
- ① 太陽光発電
- ② 小水力発電
- ③ 風力発電
- ④ バイオマス
- ⑤ 太陽熱利用 (給湯設備など)
- ⑥ 地中熱利用
- ⑦ その他 ()



質問3

どのような導入効果を期待されますか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

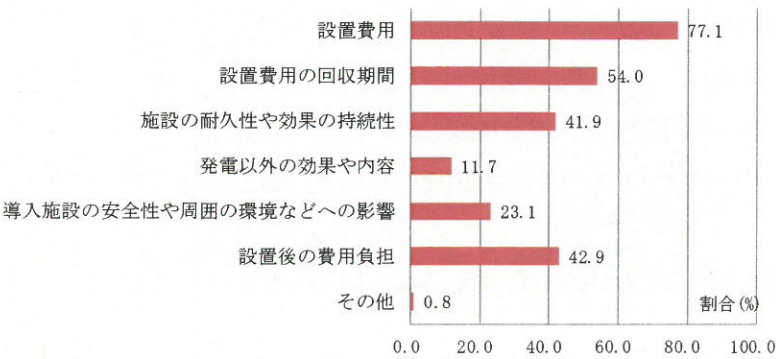
- ① 売電収入により農業経営が安定すること (収入の確保)
- ② 燃料コスト、電気代の削減など、農業生産性の向上
- ③ 管理労力の省力化など、労働生産性の向上
- ④ 災害時の非常用電源としての利用
- ⑤ 地域のイメージアップや地域の活性化
- ⑥ 地域外からの企業誘致 (新たな雇用が生まれる)
- ⑦ 環境学習への活用
- ⑧ その他 ()



質問4

導入に際し、どのような事を重要視されますか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

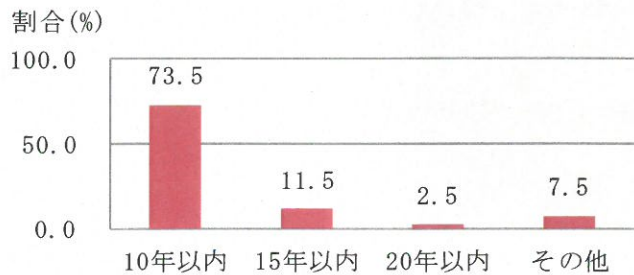
- ① 設置費用（負担する金額）
- ② 設置費用の回収期間(何年で元がとれるかなど)
- ③ 施設の耐久性や効果の持続性
- ④ 発電以外の効果や内容
- ⑤ 導入施設の安全性や周囲の環境などへの影響
- ⑥ 設置後の費用負担（運転経費、更新経費）
- ⑦ その他（ ）



質問5

設置費用の回収期間について、次のうちどれを希望されますか。あてはまるものに○をつけてください。

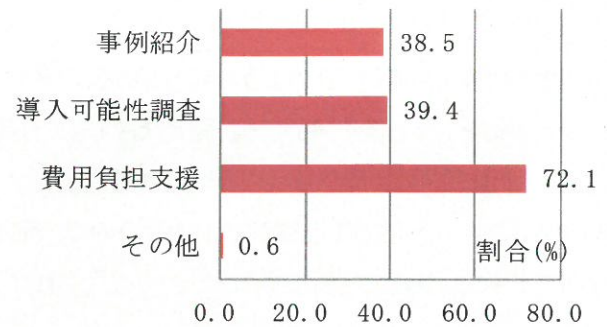
- ① 10年以内で元がとれる
- ② 15年以内で元がとれる
- ③ 20年以内で元がとれる
- ④ その他（例 5年以内。回収できなくてもよい。）



質問6

農山村における再生可能エネルギーの導入に際し、どのような支援が必要と思われますか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

- ① 事例紹介（研修会の開催やマニュアルの配布）
- ② 導入可能性についての診断調査
- ③ 費用負担に対する支援（補助の拡充など）
- ④ その他（ ）



質問7

農山村における再生可能エネルギーの取組みにおける工夫や問題点など、ございましたら、ご記入をお願いします。

以下、意見 (45名)

【行政への要望】

- ・経済効果がある様、政策を頼む。
- ・農山村維持管理者が少なくなる中、国からの補助の拡充が必要。
- ・休耕田の地目変更の簡素化を推進してほしい。「農地」に係る法規制等の緩和が急がれる。
- ・山林を開発した大きな設備に対し、農業用水及び地下水への影響など、問題が起こる。開発は規制が必要と思う。
- ・ほ場整地した田んぼにも自由に設置させてほしい。
- ・高齢化の進行により生産労働力をいかに確保し、農地の保全と治山治水を図るのか？再生エネルギーよりも農林の維持対策を推進してほしい。
- ・どの程度の規模が可能か どのような利用があるか (例) その程度の設備費用で可能か。利用例などを示してもらわないと判断できない。事例をもっと多く開示願う、紹介なさすぎ、行政が熱意を示すこと。
- ・ため池を利用した再生可能エネルギー取組事例があったら示してほしい。(全国的な事例)
- ・農村の空き地に太陽光発電を設置したいと思うので、経営負担方法や回収期間等の説明を受けたいと思います。
- ・農業所得が少ない状況で高価な投資はできない。”これは” というアイデアがあっても話を持っていくところが分からない。→PRしてほしい。
- ・地域での研修会が必要、鳥獣被害・特に猿に対する対策に効果の望めるものがあれば、資料等示してほしい。

【再生可能エネルギー】

- ・小水力発電について、農村部 (中山間地) で早々に利用できるよう検討が必要である。
- ・休耕田、遊休田に電熱機を設置しているが、これについては十分検討する必要がある。
- ・太陽光発電を利用した小型ポンプ (水中ポンプでも可) による湿田の排水や水路からの揚水ができるとうい。ソーラーパネルで稼働する小型ポンプの開発を望む。
- ・モウワ竹が群生し、処理に困っている。何とか再生エネルギーに利用できないか？
- ・太陽光、熱の活用→安価な方法が必要。
- ・水力利用がしたいと思っているが、設置費用が高額なので取組みにくい。
- ・高齢化が進む中、簡単な管理で、効果の上がる設備がほしい。
- ・電源が取り入れられない山間地域で、小水力で電源が得られれば導入設置を考慮してみたい。
- ・遊休農地を活用した太陽光発電設備の設置がしたい。
- ・ほ場整備が済んでいない地域で農地転用して設置してしまうと、後に整備する際、支障がある。

【農山村について】

- ・経済的負担、現実には、日常の経営で精一杯な方が多い。
- ・高齢化し営農取組者が少ない。高齢者の増加により、維持管理が心配。
- ・中山間地は、太陽光及び水路の発電に適しているので研究に値する。
- ・農山村では、生産性や経済性において市場原理、競争原理だけでは対応できないことが多い。エネルギーにおいても自給自足し余剰のエネルギーを売却できることが大事。